

2026 年度八戸学院大学 卒業生に関するアンケート 集計結果報告

調査期間：2026 年 4 月 27 日～6 月 5 日

調査対象：2024 年度卒業生就職先

調査方法：地域経営学科（現：地域共創学科）、人間健康学科（現：人間健康科学科）、看護学科の
2024 年度卒業生就職先へアンケート依頼文を送付し、Google フォームおよび書面での回答
をいただいた。

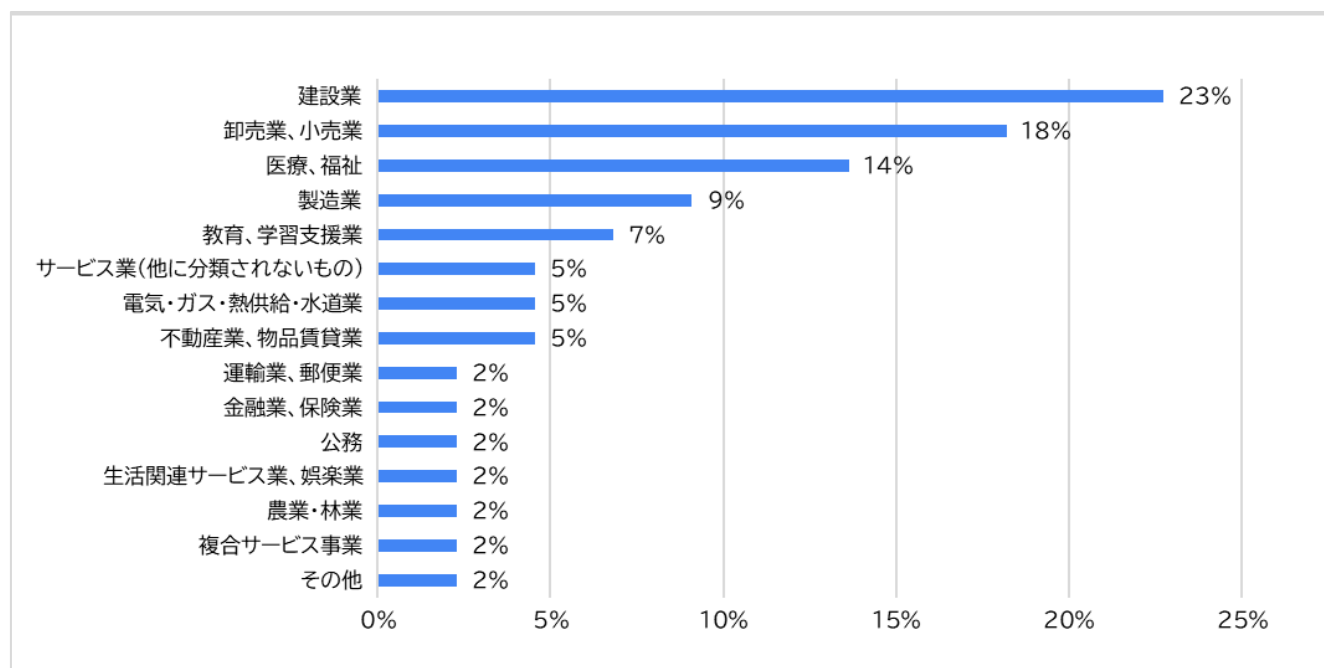
回答数：地域経営学科・人間健康学科 130 件依頼⇒44 件回答(回答率 34%)

看護学科・別科助産専攻 34 件依頼⇒17 件回答(回答率 50%)

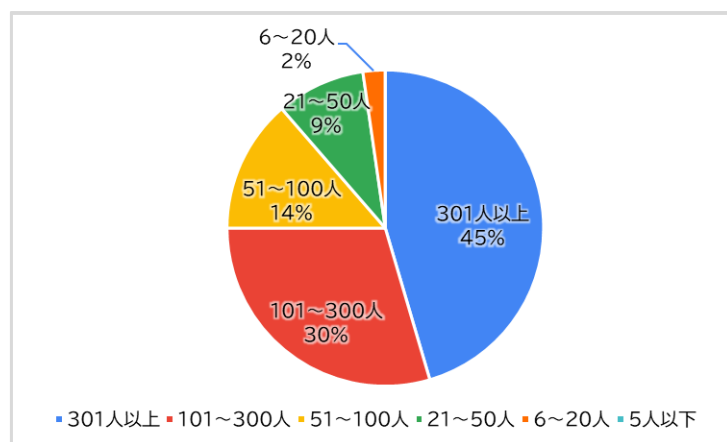
■地域経営学科・人間健康学科アンケート結果

1.回答情報

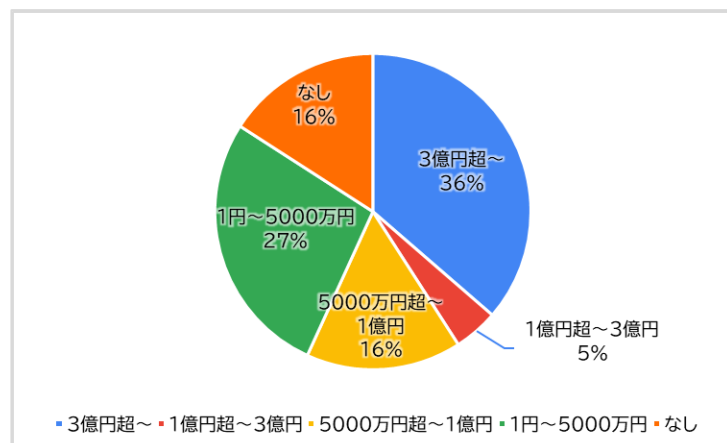
(1) 回答をいただいた企業の内訳は以下の通り。



(2) 従業員数

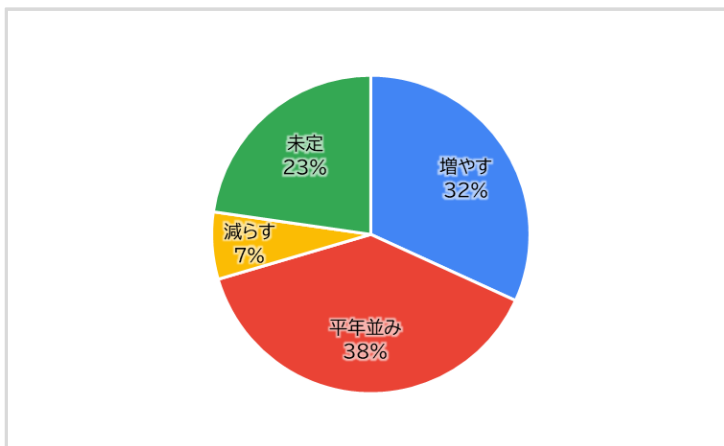


(3) 資本金



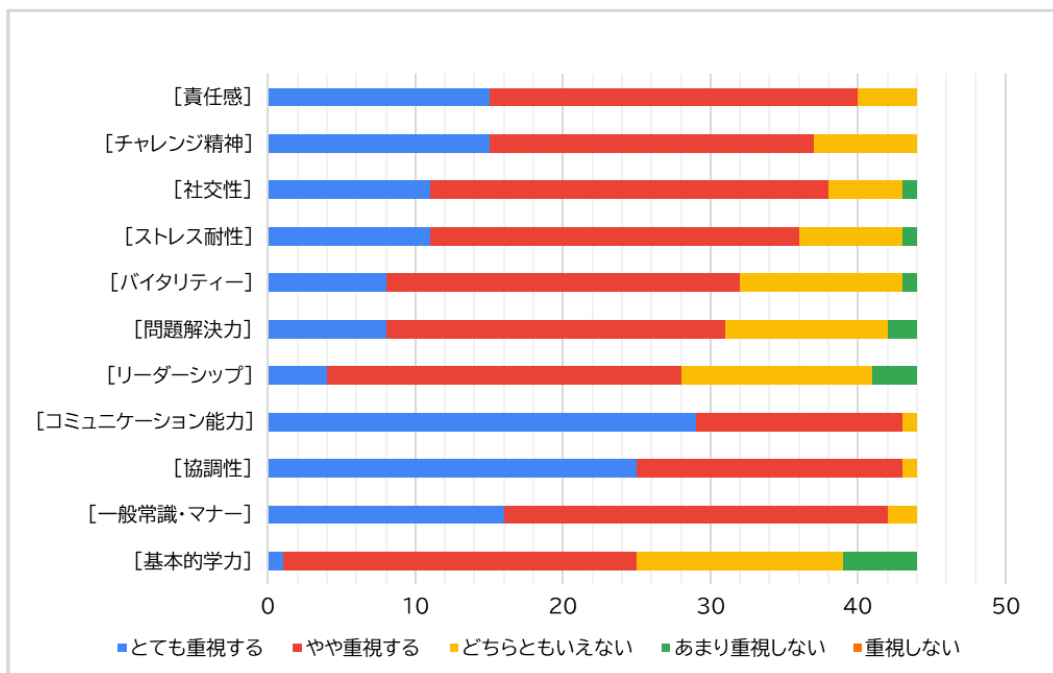
2.採用について

(1) 次年度の採用予定



・次年度の採用予定については、「増やす」および「平年並み」と回答した企業の割合が前年度と比較して16ポイント減少した。また、前年度には見られなかった「減らす」との回答も確認された。このことから、新卒採用市場は依然として売り手市場の傾向にあるものの、その状況に一部変化が生じている可能性が考えられる。

(2) 採用にあたり重視する点

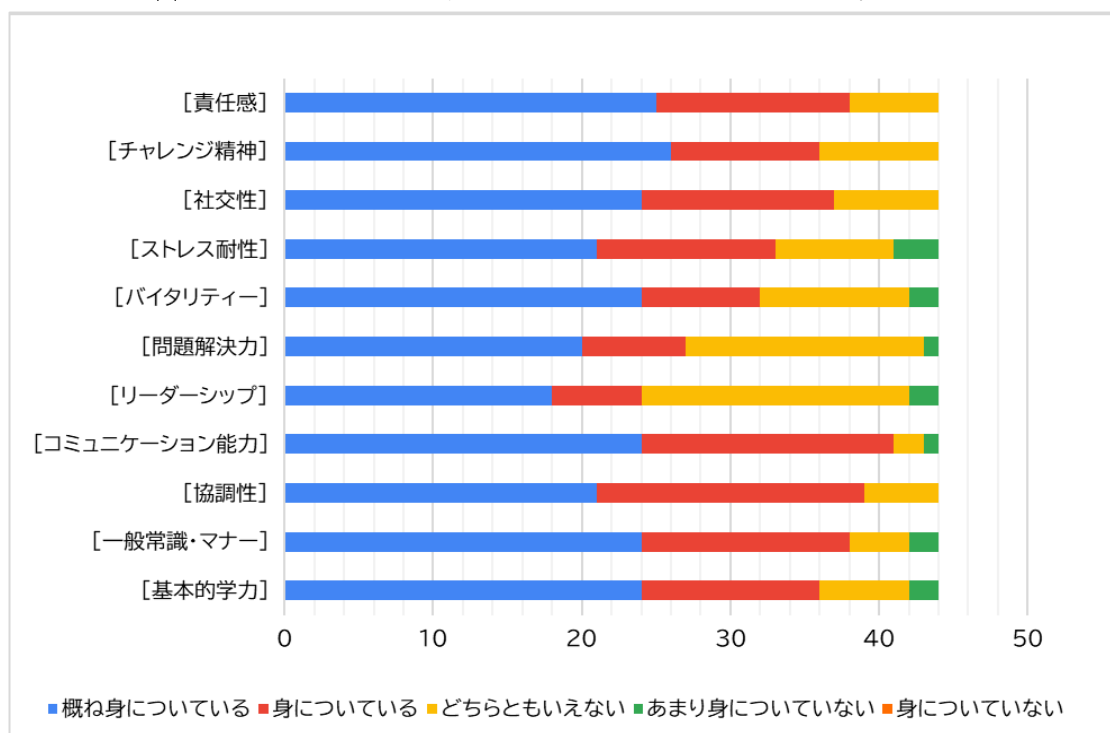


・採用に当たり重視する点では、昨年度同様に「コミュニケーション能力」「協調性」が高い結果となった。次いで「一般常識・マナー」「責任感」が高い結果となり、企業が人物面や社会人基礎力を重視している傾向が見られた。

3.卒業生について

(1) 本学卒業生の評価

上記2の(2)に項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。

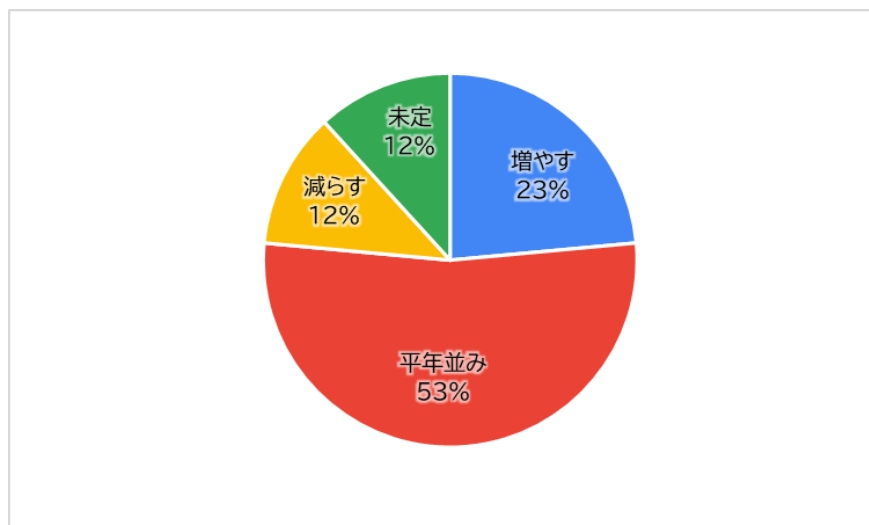


・企業が学生に求めている「協調性」「コミュニケーション能力」の点では概ね高い評価を得ている。一方で、「リーダーシップ」や「問題解決力」は比較的评价が低かった。これらは昨年度と同様の傾向であった。以上の結果から、本学の学生に対しては対人関係能力に関する評価が高い一方で、主体的な行動力や課題解決に関する能力については改善の余地があることがうかがえる。今後も教育活動やキャリア支援を通じて、これらの能力の向上を図っていく。

■看護学科アンケート結果

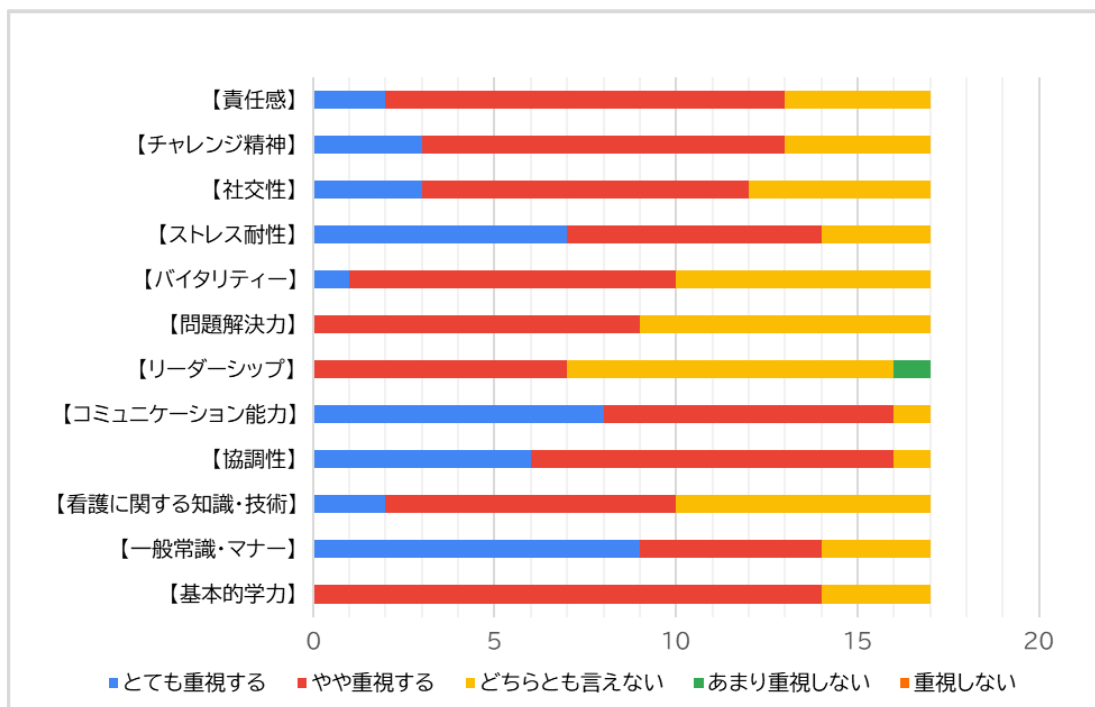
1.採用について

(1) 次年度の採用予定



・次年度の採用予定に関しては、「増やす」「平年並み」の回答は昨年度と同程度であったが、昨年度には見られなかった「減らす」との回答も確認された。このことから、多くの病院が採用意欲を維持している一方で、一部では採用計画の見直しが進んでいることがうかがえる。

(2) 採用にあたり重視する点

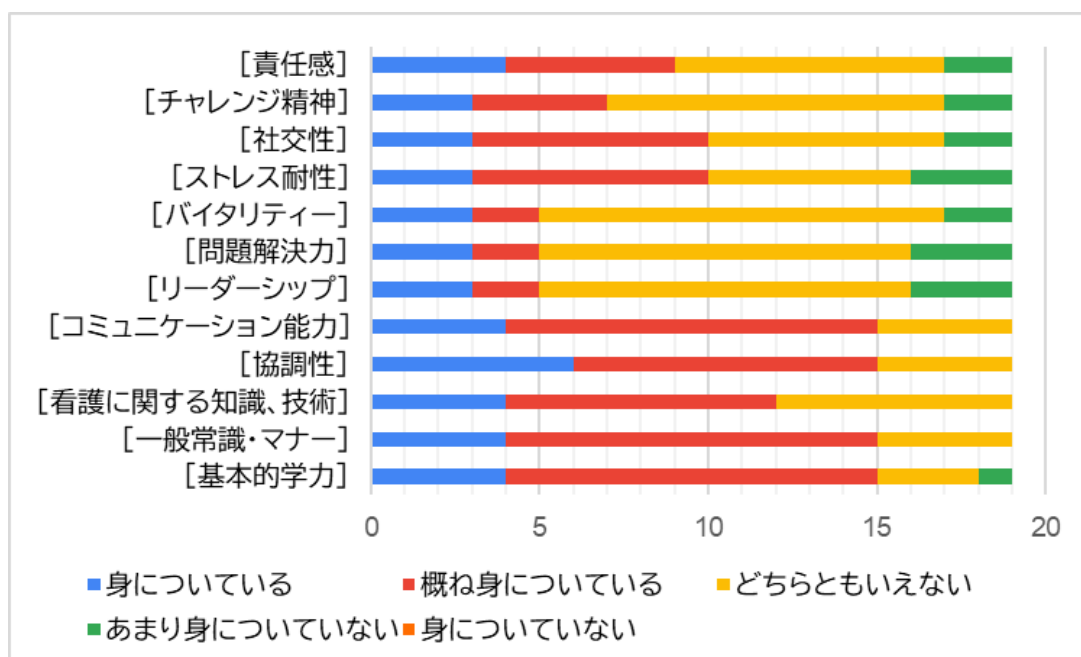


・採用にあたり重視する点では、「コミュニケーション能力」「協調性」が高い結果となった。次点は「一般常識・マナー」「基本的学力」「ストレス耐性」となっており、医療現場において多職種と連携しながら業務を遂行するための対人関係能力や、社会人としての基礎的な資質が重視されていることがうかがえる。

2. 卒業生について

(1) 本学卒業生の評価

上記2の(2)の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。



・「コミュニケーション能力」「協調性」「一般常識・マナー」「基本的学力」といった採用にあたり重視される点については概ね高い評価を得ている。一方で、「ストレス耐性」に関しては半数程度の評価にとどまり、「あまり身についていない」との回答も見られた。また、「バイタリティー」「問題解決力」「リーダーシップ」が比較的低い評価となった。医療現場では状況に応じた判断や多職種との連携、主体的な行動が求められることから、今後はこれらの能力を育成するための教育や実習機会の充実が重要であると考えられる。